



# 林 声

2012

9 月号



今年3月、吉備路を代表する備中国分寺に中国自然歩道の路傍休憩地が完成しました。季節の花が咲く県有地の一角に芝生広場を整備し、利用者は四季折々の風情を楽しむことができます。また、トイレは木を基調としたシンプルな構造とし、ユニバーサルデザインやLED照明が採用されています。

【施設概要】 公衆便所 木造平屋建て 床面積14m<sup>2</sup> 木材使用量9m<sup>3</sup>、東屋 床面積9m<sup>2</sup>、木材使用量2m<sup>3</sup>

## 目 次

行政トピックス.....	2	技能講習会、イベント情報.....	11
がんばる森林組合（美作東備森林組合）.....	3	林産物市況.....	12
普及最前線「この人に聞く」⑨.....	4		
普及情報（東備地域）.....	5		
林業技術②.....	6		
随 想.....	7		
木材利用・技術③.....	8		
お知らせ.....	9,10		



岡山県マスコット  
「ももっち」

## 伐採及び伐採後の造林の届出 制度の改正

本年4月から、普通林における伐採及び伐採後の造林の届出制度が次のとおり改正されました。

### 一 罰則の改正

#### (一) 罰金の上限額の引き上げ

伐採の届出をせずに伐採した場合（錯誤を除く）や伐採の届出を行った後、届出に記載した内容と異なる伐採や造林を行い、市町村からの遵守の指導、施業勧告及び遵守命令に従わない場合の罰金が30万円から100万円へ引き上げられました。

#### (二) 新たな罰則の制定

届出をせずに伐採を行い、市町村からの伐採の中止の指導、勧告及び命令に従わず、引き続き伐採を行った場合又は、人家裏での伐採や伐採を行ったことにより土砂が流れ出る恐れがある箇所、届出をせずに伐採を行い、市町村からの造林の指導、勧告及び命令に従わない場合の罰則として、罰金100万円が科せられます。

### 二 伐採の届出と造林事業に係る補助について

伐採及び伐採後の造林の届出を行った後に植栽を行った箇所は、植栽のみ造林事業の補助金を受けられることができます。

(下図の●参照)

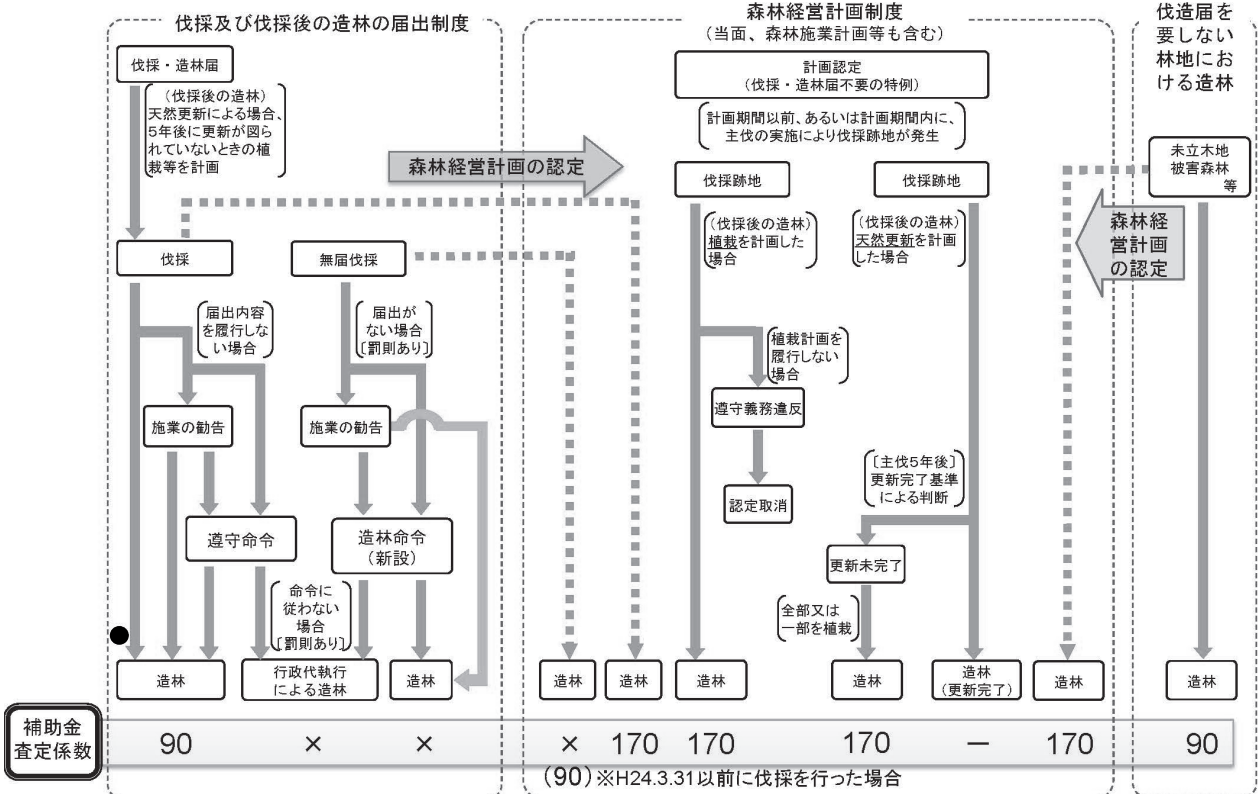
### 三 伐採跡地での天然更新による造林について

届出において、伐採方法を主伐、その後の造林の方法を天然下種やぼう芽等による天然更新で計画した場合、5年以内に後継樹が3,000本/鈔以上成立しているなど、市町村森林整備計画で新たに定めた天然更新基準を満たす必要があり、満たしていない場合は、刈出しや補植などの補助作業が必要となります。

詳細については、市町村役場又は最寄りの県民局及び地域事務所へお問い合わせ願います。

(林政課森林企画班)  
(二)については、治山課造林班)

## 造林に関する規制と補助について





# 特集「がんばる森林組合⑦」 美作東備森林組合の紹介

## 勝英普及指導区

### 一 はじめに

美作東備森林組合は、平成24年4月1日に勝英管内の「美作森林組合」と、東備管内の「赤磐市森林組合」、「備前市森林組合」の3組合が、合併し設立されました。

合併したことで、県南から県北まで、民有林面積8万畝という広い範囲を管轄し、下刈り、除伐、間伐等の事業推進を行っています。今回は和田参事に今後の展開についてお話を伺いました。



和田参事

二 インタビュー  
— 合併してみて如何ですか？  
合併したことで、事務所数8か

所、職員18人、作業員60人の大所帯となり、組合員も6600人となり、その期待に応えるためにも、今まで以上に事業の推進を図る必要があります。

基盤強化を図るための合併でしたが、地域によって事業内容に差があり、月1回の各支所・事業所の定例会では、足並みが揃わない場合もあります。特に施業については、勝英管内では個人所有森林に対する事業が主となりますが、東備管内においては、公社・公団の事業や、松くい虫対策事業が主となり、個人所有森林に対する取り組みは少ないのが現状です。

### — 今後の展開については？

造林補助制度が大きく変わり、切捨間伐主体から搬出間伐へ移行する必要があります。集約化を進めるためにも地域がまとまらなければなりません。

現在、経営計画を立てるため、各支所・事業所ごとに地区を回って説明会・検討会を実施しています。また、搬出するためには作業道の開設が必要であり、路線検討も行っていますが、山が急峻であったり、不在村地主のため同意形成が難しい等の問題も多い上に、材価の低迷が所有者の施業意欲低下

に拍車を掛けています。

例えば勝英管内では、これまで切捨間伐を中心に組み組んで来たことがかえって集約化が進まない要因となるなど様々な問題がありますが、市町村に協力をお願いしながら、集約化を進めているところであります。

効率のよい作業システムを構築するためには、計画的な森林作業道作設はかせませません。森林GISを活用した施業歴等のデータ管理の徹底など、組合員の山を長期目標を立てて永続的に管理していくという責任もあります。今後は、



機械化には作業道が必要

今以上に現場管理が必要となるため、組合の体制をスリム化するよう見直しをしていきたいと思っています。

また、低コスト化を図るために

は、作業効率を見直し、搬出量をアップさせることも重要なため、林産班を1班増やしたり、作業規模に応じた体制を組むために地元素材生産業者との連携を図ることも考えています。職員自らが地域のリーダーとなって、地域と協力しながら事業を展開をしていくつもりです。



現場にあった作業システムを検討

### 三 おわりに

低迷する森林経営の中で、地域の山を守るために、森林組合は中心的存在として活躍していただきたいと思っています。

そのためには市町村と協力しながら、必要な情報提供や指導を細かに行いたいと考えています。

(林業普及指導員 檜尾彰久)

普及最前線

「この人に聞く！」

9

今回は新見市森林組合のフォレスト、佐倉健司さんを紹介しします。

8月中旬、新見市内の搬出間伐の作業現場で話を伺いました。

佐倉さんは、平成15年に森林組合に就職され、「緑の雇用」の第一期生として研修を受講後、新見地域の森林整備に携わってこられました。

○プロフィール

・氏名 佐倉 健司

・年齢 27歳

・出身地 新見市千屋花見

○就業の動機

新見北高校土木科に在学中、旧哲西町森林組合のフォレストの求人案内があったので採用試験を受けられたそうです。地元での就職を希望していたこと、また、他の森林組合に親戚が勤められていたことも就業のきっかけに繋がったということでした。

○今している仕事

「森田班の4名で搬出間伐を行うため作業道の伐開作業を始めた」と

ころです。班にはスイングヤーダ(ザウルス)とフォワーダの2種類の林業機械がありますが、プロセッサなどは他班と共有して使用するので、作業効率が落ちないように入念に段取りを行います。」

伐開作業に入る前は、いつも全員で作業道の線形を確認し、搬出の段取り等話し合ってから作業に取り掛かっているそうです。



森田班の皆さん  
(中央右側が佐倉さん)

○思い出の仕事

「特に記憶に残っている仕事としては、就職して2年目となる平成16年度の台風第23号の森林災害復旧作業です。」

新見地域の5つの森林組合が合併直後、当地域も大きな風倒木被害を受け、佐倉さんも哲西地域から大佐地域の災害復旧現場に応援

に行かれたそうです。

「経験が浅かったことや急傾斜での危険な玉切り作業などを思い起こしたら、夜も興奮してなかなか寝付けなかったことを思い出します。」

「安全作業には何よりも班のコミュニケーションが大切。」災害復旧という危険な作業内容を若くして経験し、安全と作業効率を図る上で、佐倉さんが最も大切にされていることだそうです。



伐開作業中

○将来の夢

「フォレストとして就職して森林整備の現場に携わってききました。今後、機会があれば現場を管理する経験をしてみたいと思っています。これまでの経験を生かし、現場に応じた機械や班の投入をマ

ネージメントしてみたいです。」

○趣味など

週末には欠かさず日本海に魚釣りに行かれるほどの釣りバカだそう。また、高校時代の仲間と週一でバスケットボールを練習し、新見市内の大会に参加するスポーツマンでもあります。

○筆者からのエール

「森林・林業再生プラン」などにおいて、林業労働者の高度技能者の育成が進められています。当普及指導区としても一人でも多くのフォレストが就業するよう、また、施業の効率化や事業管理等を担うフォレストマネジャー(統括現場管理責任者)等の育成に取り組んでいきたいと考えています。

佐倉さんには、これからも多くの経験や技術を積まれ、地域林業の牽引役となっていただきたいと思います。

これからのより一層のご活躍をお祈りします。

(新見普及指導区)

林業普及指導員 木村淳二



普及情報

都市近郊林の整備に取り組む  
森林ボランティア団体

「あかいわ美土里の和」



○はじめに

赤磐市は果樹をはじめとする農業地域と都市近郊の居住地域の側面を合わせ持っています。また一方では林野率63%の自然豊かな地域でもあり、森林が持つ生活環境や保健休養の機能発揮にも期待される地域となっています。

そうした地域に相応しい森林整備を、と昨年設立され、森林ボランティア活動を続ける「あかいわ美土里の和」を紹介します。

○会の発足

会長の白石齊さんは自然豊かな地で芸術活動に取り組み、18年前に東京から赤磐市に移住され、創作活動の傍ら「自然環境の保全」と「人と自然の共存」をテーマに人の輪を築いてこられました。そして昨年5月にその仲間と森林ボランティア団体「あかいわ美土里の和」を設立するとともに、赤磐市との間で住宅団地に隣接する市有林(約10㍍)を団体のフィールドとする協定を締結し、会の活動がスタートしました。

○会の活動内容

活動は、会員はもとより広く一般にも呼び掛けることを基本とし、市広報誌への掲載やチラシを市内各所に配置するなど工夫をしています。平成23年度の取り組みを紹介します。

- ①計画 会員及び専門家の協力により、長年利用されず放置されていた市有地を踏査し、植生の把握と利用の前提となる遊歩道ルートを選定を実施しました。
- ②整備 会員及び一般募集の参加者で3回の森林整備活動を実施しました。遊歩道計画ルートでは、倒木処理や支障となる草木の刈り払いを実施、笹原と化した土地の



酷暑の中、今年も大勢の会員が集まりました。

刈り払いに取り組みました。放置され荒れ果てていた森林も明るさが蘇ったようです。参加者同士の交流も図ることができました。

- ③利用 整備ができた部分を活用し、動植物の専門家による自然観察会を開催しました。大人から子供まで楽しい観察会になり、自然保護と利用の両立が可能なことを実感し、次回の開催を楽しみにしています。
- ④啓発活動 学識経験者を招き「森林を守るために市民ができること」をテーマに掲げた「赤磐市の自然を考えるシンポジウム」を開催し、

会員のほか多数の一般市民も参加して開催できました。森林への理解を深めることができ会員の増加にもつながりました。

○今後の取組(会長から皆様へ)

私たちは、自然からたくさんの恵みを受けてきました。

安心して食べられる美味しい食べ物、きれいな空気、きれいな水、着物や工芸品、家具や住居、医薬品、そして美しい景色。

しかし、私たち人類が自然を開発し続けたことによって、地球環境は大きく変化しています。

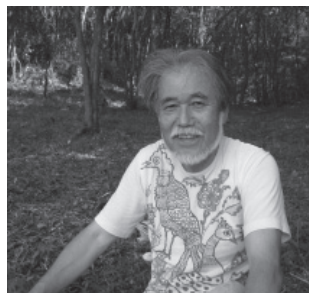
だからこそ、森林の保全と利用を両立させる活動を基本理念に、

都市近郊林のあり方を模索していく必要を強く感じています。昨年取り組んだように保健休養の場、環境学習の場としての整備と利用を継続していきたいと考えています。自然に対し敬意を払いつつ、地道な活動を続けていきたいですね。

多くの方々のご参加をお待ちしています。(連絡先(事務局・南))

○おわりに

TEL 086-955-2790



草刈りを終え、森づくりへの想いを語る白石さん

発足して1年余りの団体とはいえ、会長の人柄と熱い心、会員それぞれ知識や特技に支えられ、着実な一歩を踏み出しました。会の更なる活躍を願いつつ普及指導区としても支援していきたいと思えます。

(東備普及指導区  
林業普及指導員 竺原光男)

林業技術②  
シイタケ原木の自家伐採  
とほだ木の管理

食に対する安全・安心が求められる中、原木シイタケは自然食品として注目されてきましたが、福島第一原子力発電所事故による放射性物質の影響に伴い、多くの地域に原木を供給していた福島県等からの調達が難しくなり、全国的に原木が不足する事態となつています。そこで今回は、安全・安心な岡山県内自家伐採によるシイタケ原木作りをはじめ、ほだ木の管理など一連の作業についてポイントを紹介いたします。

○シイタケ原木の樹種選定

まず樹種の種類ですが、もつとも適するのは、コナラ、クヌギ、ミズナラです。その他、アベマキ、カシ類、シイ類、シデ類なども利用できます。

○原木の伐採時期

よい原木を作るのに重要なのは、伐採の時期と乾燥が重要です。樹木は葉で栄養分をつくり、幹や枝の生長に利用し、新芽の準備を行います。落葉樹が赤や黄色に色づく頃は木に貯蔵している養分が多い時期といえます。よって、伐採

樹種	伐採時期						
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
クヌギ		■	■				
コナラ		■	■				
ミズナラ		■			■	■	
カシ類・シイ類					■	■	
シデ類							■

■：最適期    ■：適期

図 伐採適期 菌茸2006.10月号  
日本きのこセンター P7  
原木の伐採時期 改変

適期は黄葉初期から約30%黄葉となった頃とされ、コナラにおいては約70%が黄葉となり、1〜2度降霜にあう頃までが適期とされています。なお、若葉刈り（早刈り）は浮皮となり、遅刈り（落葉後）は乾燥ムラの発生や伐採した原木の枯死が遅れます。

○葉枯らし・玉切り

乾燥が不十分な場合は原木の表面が成長できません。そのため、原木の伐採後、材を乾燥させる（枯死させる）ために、葉の蒸散作用を利用し、伐採後に葉をつけたまま一定期間放置する方法を「葉枯らし」と言います。従来は葉枯らし期間は1〜2ヶ月と言われていましたが、この間クロコブ病等の

雑菌に感染することが判明し、近年では20日間程度に短縮されています。乾燥終了の目安は、木口面に中心から2/3程度の小さいヒビができた頃や、小枝を折ってみて中心部が黄色に変わった頃とされています。なお、乾燥が進んでから直射日光にさらすなど、過度に乾燥した場合も菌糸の活着や成長が阻害されますのでご注意ください。

玉切りの長さは、90〜120cmが標準です。大経木は短くして取扱を容易にします。

○植菌（駒打ち）

植菌は3月に行うのが適期ですが、ソメイヨシノの開花までには作業を終えます。また、平均気温が5℃以下になる厳寒期までに菌糸を活着できれば、晩秋に植菌することも可能です。

○伏せ込み

植菌直後のホダ化促進のため仮伏せを行います。ほだ木を棒積みにし、遮光ネット等で覆い、乾燥を防ぐとともに5℃以下とならないよう管理します。本伏せへの移行の目安は、木口に菌糸紋が白く現れる頃です。なお、仮伏せを行つたまま長期間の放置することは逆効果となりますので、平均気温が

15℃を超えない時期までに終了します。

本伏せは、風通し・水はけが良く、直射日光が当たらない場所が適地となります。特に菌糸は低温には強いものの高温には敏感に反応するので直射日光は禁物です。木陰や人工庇陰などで湿気がこもらないように日陰を調整します。



○ナラ枯れ被害にも効果

シイタケ原木としてコナラなどを伐採することは、老齢木を含めたこれらの林分の更新を図ることとなり、カシノナガキイムシによるナラ枯れ対策の一環ともなります。シイタケ原木の自家伐採も一度検討してみてくださいでしょうか。

（普及推進課 林業普及推進班）



「木の文化と技術を育む」  
 随想  
 森林研究所副所長  
 河崎 弥生

私達は、太古から森林と触れあい、そこからの恵みである木材とともに暮らし、「木の文化」を育んできました。森林に一歩足を踏み入れれば、大自然の悠久たる時の流れを感じ、誰もが神聖なる気持ちになることでしょう。また木材に対しては、私達の暮らしに自然に寄り添うことで、人間が触れ合ふべき物の原点を感じます。

木材は、人間にとって一番身近な物質の一つであったため、昔から住居や生活用品の原材料として用いられてきました。縄文時代中期の三内丸山遺跡（青森県）、弥生時代の吉野ヶ里遺跡（佐賀県）や登呂遺跡（静岡県）には、クリ材を中心として周辺に生育する広葉樹類、さらにスギ材などの針葉樹類も多用されていました。すなわち、これらの時代において、木材は生活を成り立たせるための最も重要な材料であったと言えます。

その後、古墳時代を経て飛鳥、奈良時代を迎える頃には、寺院建築を中心として本格的な木造建築物が建立されることとなります。法隆寺や大仏殿などは代表的なものです。その後、平安、鎌倉、室町、江戸と様々な建築様式や技術の発展を経て、木造文化が着実に継承されます。また、明治以降は、海外の技術や新しい素材を取り入れ、今日に至っています。

各時代で多用された木材の樹種は、飛鳥、奈良、平安時代にはヒノキやコウヤマキが多く、鎌倉以降になるとケヤキが増加しているようです。勿論、ヒノキが無い地域では従来からスギが用いられていたということも分かっています。また、強い国家権力を使って建立する特別な寺院等の場合には、全国各地から必要な材を集めたので、各地域に生育している樹種を利用していただけと考えられます。

下の写真は、平城遷都1300年を記念して復元された大極殿の外観と内部です。初重には、直径約71cmで長さ5mのヒノキ円柱材が44本用いられています。吉野や熊野地域をはじめとして全国から

調達したようです。近くで見ると、そのスケールに圧倒されます。飛鳥、奈良時代に、既にこのような大スケールの木造建築物を建立する技術を持っていたことに、改めて驚嘆させられます。

木材は森林で育まれた天からの恵みであり、私達は大切に利用していかなければなりません。地球上で、太陽のエネルギーを糖分という物質に変えられるのは植物だけであり、またそれを長年にわたって貯留して木材という物質に変換できるのは、樹木のみです。そして、それらは、有り難いことに再生可能であり、将来にわたって私達が恵みとして享受できることを約束されているものです。

しかし、それには私達が最低限果たさなければならぬ義務があります。すなわち、地球環境を悪化させるような活動を慎むとともに、健全な形で森林を保守管理することを積極的に行うことが重要です。このことを通して、木材という恵みを適度に頂戴しながら、「木の文化」を長く継承していくことが大切であると思います。

木材の利用方法には、物理的、

化学的、さらにはバイオマスのものなど、様々なものがあります。これらを科学的に探求し、実用技術として結実させることは、本当に魅惑的な作業です。

森林研究所は、これらの研究の拠点として、皆様方のお役に立てるよう努力いたす所存です。



木材利用・技術 ③

全国のJAS認定工場から出展された製材品の「規格・寸法の正確さ」を競う「第39回JAS製材品普及推進展示会」において、県内の製材所2社が最高位の農林水産大臣賞を受賞しました。（最高位は全国で4社）

そのうちの1社、牧野木材工業株式会社（真庭市）の牧野淳一郎社長に、受賞の喜びや会社の取組についてお聞きしました。



牧野社長

「平素心がけていること」

当社の製材品は、乾燥後の寸法安定性が確保されるよう、丸太を木取する時から細心の注意を払うよう心がけています。また、乾燥時には、同一寸法の物を乾燥機に入れ、材全体の乾燥が均一に仕上

がるように注意しています。それに、季節によって含水率が変わってくるので、木材の様子を見ながら乾燥スケジュールを調整し、最終仕上げは、モルダールで行っています。

JAS展示会への出品は以前から行っていますが、平成21年に「新JAS機械等級区分工場」に認定されて以降の、大臣賞受賞は初めてです。受賞後は社員にも「さらに良いものを作らなければ」という自覚が強く出てきているところで、9月に開催される第40回JAS展示会出展に向けて、寸法精度をさらに高めるよう、社員一同気合を入れて頑張っているところです。

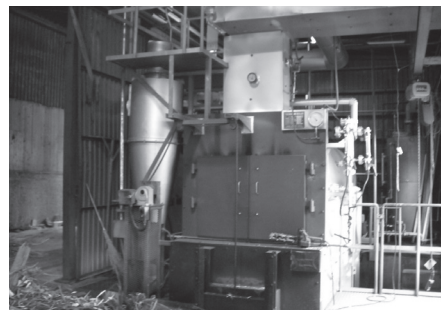


工場内に掲げられている看板

「木材業界初」

平成20年に重油焼きボイラーをやめ、経済産業省の補助を受けた木屑焼きボイラーと、樹皮を燃料とするパーク専焼焼きボイラーを導入しました。このパーク専焼焼きボイラーについて、二酸化炭素

の排出枠を売買する「国内クレジット制度」を申請し、全国の木材業界でも初めて承認を受けました。それまで樹皮は、産業廃棄物として業者にお金を出して買い取ってもらっていましたが、ボイラーの燃料にすることで、産廃処理する必要がなくなり、重油購入量が10分の1以下に減少しました。

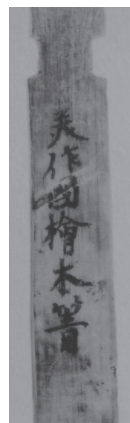


パーク専焼焼きボイラー

それに、焼却灰の7割ほどは米子市にある和菓子製造会社が木の灰のあく抜き用に引き取ってくれています。このほか、焼き物の上薬に利用されたりしており、こちらでも産廃処理はしていません。当社では木材は全く捨てることなく利用しています。

「美作国建国1300年を思う」

当社は文久3年（1863年）、薪炭問屋として創業、昭和51年に現会社名で法人化し、来年で創業150年を迎えます。奇しくも美作国建国1300年の記念すべき年が当社にとっても大きな節目の年となります。奈良国立文化研究所には平城京跡の発掘調査で「美作国檜木簀（みまさかかくにひのきすのこ）」と書かれた木簡が保管されています。私は当時から「美作檜」というブランドがあったのではないかと遠く奈良時代に思いをはせています。今回の受賞を励みに、一層の品質管理に努め、お客様様のニーズを大切に、末永く愛される製品作りにまい進したいと思います。



奈良国立文化財研究所HPより

※本稿取材にあたり、お忙しい中時間を取っていただいた牧野社長、藤本部長に感謝申し上げます。

（普及推進課 林業普及推進班）



**岡山県林業研究グループ  
交換研修大会を開催しました**

平成24年7月18日に、恒例の「岡山県林業研究グループ交換研修大会」を新見市「まなび広場」に「み」で開催し、県内の11グループが集まり、53名が参加しました。



午前の部では、新見市神郷女性林業研究グループが、23年度に取り組んだ児童・生徒の林業就業促進支援事業の成果を発表しました。地元小学校と連携した「しいたけ栽培」は、植

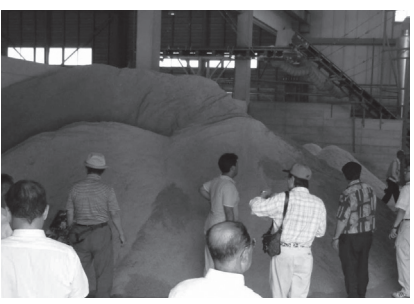
菌から収穫までを多年度に亘って取り組み、収穫されたいだけは、生徒はもちろんのこと、先生・保護者にも好評だったと報告されました。  
次の県外研修参加報告では、抱えている問題や取組活動は全国共通したものがあり、成功事例やア

イディアを話し合うことで、元気をもらったと報告がありました。  
午後の部は、新見市内の視察研修を行いました。

「御殿町まち歩き」では、当時でも珍しかったと思われる材をふんだんに活用した建築物や、懐かしい生活用品、もてなしのための珍しい品々を地元ボランティアの案内で探訪しましたが、初めて訪れた参加者が多かったです。

最後に、「創山林業(株)」のお粉製造プラントを見学しました。林地残材を牛舎の敷料などに活用し、畜産・林業の振興と地域の循環利用を実現する取組について説明していただき、参加者から熱心な質問がでていました。

(事務局)



**フォレストスクールを  
開催しています**

森づくり活動を推進しているボランティア団体や、これから森林ボランティア活動に参加しようとする人を対象に「フォレストスクール」を開催しています。

体験活動を通じて森の楽しみを楽しむ「森づくりワークショップ」と安全管理や技術指導について学ぶ「森づくりリーダー研修」があり、今年度の開催予定は下記のとおりです。参加申込は林政課までお願いします。(会場はいずれも高梁美しい森)

森づくりリーダー研修	
平成24年9月15日(土)	間伐作業の実践と安全指導
平成24年12月8日(土)	里山林の整備・炭焼き
森づくりワークショップ	
平成24年10月21日(日)	きのこ観察、炭焼き

(林政課普及指導班)



8月18日に開催したワークショップでは、葉っぱのタペストリーづくりを行いました。山から取ってきた様々な葉っぱを使って、思い思いの作品ができあがりました!

公園・街路修景施設の設計・製作・施工  
その他木製品の注文承ります 水を活かす

**株式会社 フォレスト**

〒702-8058 岡山市南区並木町二丁目16番22号  
TEL086-265-7350 FAX 086-265-1841

「2012国際協同組合年  
フエスティバルinおokayama」  
～絆・希望・未来～の開催

今年、国連の定めた国際協同組合年であることから、県内の協同組合が協力し、県民皆様の参加と交流を目的とした、協同組合フエスティバルが開催されます。

【日時】9月29日(土)

10時00分～14時30分

【場所】コンベックス岡山

大展示場・中展示場

(岡山市北区大内田)

【内容】「ブースイイベント」に岡山県森林組合連合会ゾーンが出店！パネル展示を始め、木製品・乾しいたけ販売、木工教室、木製ジャングルジム、住宅相談コーナー等が展開される予定です。(このゾーンは、県森連、県木連の各連合会に所属している団体によって運営されます)

その他、農協、漁協、生協の各組合ゾーン、ステイジイベント、東日本大震災支援コーナー等盛りだくさん予定されています。皆様ぜひお出かけください。

「第2回全国合板コンペ1  
枚・作品コンペ」募集!

木質材料の代表格である合板を使って作る作品コンペが、次のおり開催されるので、お知らせします。

☆作品規格 合板1枚(3×6サイズ・板厚は自由)以内を使用。家具金具等の使用は自由。表面塗装等も可。

☆応募方法 応募は2段階です

◎1次応募期間(書類審査) 作品の書類のみを送付

平成24年9月3日(月)～平成24年9月21日(金)(必着)

◎2次応募期間(実物の審査) 1次応募で選ばれた作品について審査(送料応募者負担)

平成24年10月22日(火)～平成24年10月31日(水)(必着)

☆表彰 一般の部、ジュニアの部(高校生以下)に分けて表彰されます。

詳しい内容は事務局のホームページをご覧ください。応募用紙もダウンロードできます。

<http://zairyos3.rkoshimane-u.ac.jp/kakougijutu-chugokuh.html>

検索キーワード「日本木材加工技術協会中国支部」または「島根大学合板コンペ」

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

- [野生獣類忌避剤] コニファー水和剤
  - [幼令樹保護カバー] くわんたい
  - [樹皮食い防止に] バークガード
  - [野生草食獣食害防止] 防獣ネット
  - [クズ専用除草剤] ザイトロン・ザイトロンフレノック・ケイピンエース
  - [樹幹注入剤] センチュリーエース ★新発売★マッケンジー注入剤
- (お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：日植アグリ株式会社

TEL：086-292-5525

大同商事(株)大阪営業所

TEL：06-6231-2819

サンケイの松くい虫防除薬剤

多目的使用(空中散布・地上散布)ができる

**スミパイン® 乳剤・MC**

積れる松枯れ防止用散布剤

**モリエート® SC**

ナラ枯れ予防用樹幹注入剤

**ウッドキング® SP**

伐倒木用くん蒸処理剤

**キルパー® 40**

伐倒木除菌剤

**パインサイド® S油剤D**

樹幹注入剤

**グリーンガード® ファミリー**

お問い合わせは最寄りの県森連・森林組合へ



**サンケイ化学株式会社**

大阪市淀川区西中島4丁目5番1号 Tel.(06)6305-5871



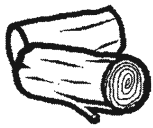
## 技能講習会の開催(9~11月)

※詳細は申込先にお問い合わせください。

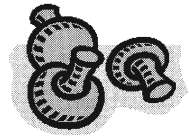
名称	会場	日程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡山	9月13, 14日・11月15, 16日	(社)岡山県労働基準協会
玉掛け(未経験者対象)	岡山	9月6, 7日・8, 9日・10月4, 5日 ・11月8, 9日・10, 11日	TEL(086)225-3571
	津山	9月3, 4日	
	新見	9月13, 14日	
	笠岡	9月18, 19日	
	玉野	9月24, 25日	
(補助業務経験者対象)	岡山	11月15, 16日	
伐木(特別教育)	津山	9月25, 26日	林業・木材製造業労働災害防止協会
	新見	9月25, 26日	岡山県支部
刈り払い機取扱作業	岡山	9月14日	TEL(086)221-2160
	津山	9月28日	
林業架線作業主任者受験準備講習	津山	10月29, 30日	
移動式クレーン運転士		9月11日 11月13日	中国四国安全衛生技術センター TEL(084)954-4661
はい作業主任者	岡山	9月13, 14日	陸上貨物運送事業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL(086)234-1332

## 森林・林業関係イベント参加募集

実施年月日	開催場所	イベントの名称	問合せ・申込み先
9.16(日) 9:00~12:30	櫛の杜 (井原市門田町地内)	櫛の杜塾・第149回杜の市 (特産品の販売など)	櫛の杜塾 塾長 田村駿逸 TEL 0866-62-8614
10.6(土) 11:00~14:30	真備総合公園 (倉敷市真備町)	岡山県みどりの大会2012	岡山県自然環境課 TEL 086-226-7312 倉敷市公園緑地課 TEL 086-426-3495 (公社)岡山県緑化推進協会 TEL 086-221-9511
10.6(土)	岡山県農林水産総合センター (赤磐市神田)	農林水産総合センターフェア (研究紹介、木工等体験、農林畜産物販売)	岡山県農林水産総合センター 産学連携推進課 TEL 086-955-0273
10.13(土) 8:30~16:00	高梁美しい森及びその周辺 (高梁市松山地内)	キノコウォッチング	NPO法人フォレストフォーパル岡山 TEL 0866-22-1000
10.20(土)	グリーンヒルズ津山 (津山市大田)	第13回森林を考える岡山県民の つどい	岡山県北森林・林業活性化促進 議員連盟事務局(津山市議会事 務局内) TEL 0868-32-2140
10.21(日) 9:00~12:30	櫛の杜 (井原市門田町地内)	櫛の杜塾・第150回杜の市 (特産品の販売など)	櫛の杜塾 塾長 田村駿逸 TEL 0866-62-8614
10.27(土) 13:00~16:00	森林研究所木材加工研究室 (真庭市勝山)	木材学習講座 (研究紹介、木工体験)	森林研究所木材加工研究室 TEL 0867-44-3367
10.21(日) 9:00~15:00	久米南町塩之内地内	森林学習講座 (きのご観察会・炭焼き)	森林研究所 TEL 0868-38-3151
11.10(土) 10:00~12:00	おかやま共生の森・井原 (井原市西江原町地内)	保育のつどい (広葉樹林整備)	井原市森林組合 TEL 0866-72-0161
11.11(日) 9:00~15:00	星の郷ふれあいセンター (井原市美星町星田)	第31回美星ふるさと祭り (木工教室・チェンソーカービング・特 産品販売など)	美星ふるさと祭り実行委員会 (備中西商工会美星支所内) TEL 0866-87-2064
11.17(土) 9:00~15:00	高梁市臥牛山周辺 (高梁市内山下地内)	臥牛山フィールドミュージアム 体験学習	NPO法人フォレストフォーパル岡山 TEL 0866-22-1000



# 林産物市況



木 材 (8月20日)

単位：千円/m<sup>3</sup>

樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り	樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り				
杉	3m	14～16	8.5	-	6.5	檜	3m	14～16	19	-	14	-	
		18～20	10	-	6.5			-	18～20	18	-	14	-
		22～24	12	-	7			-	22～24	17.5	-	14	-
	4m	18～22	10	-	8.5		-	4m	26cm上	18	-	14	-
		24～28	10	-	9		-		14cm	15	-	13	-
6m	18～20	18	-	6	-		16～18		19	-	15	-	
							20～22		17.5	-	14	-	
松	3m	18～24	8	-	5		-		24～28	20	-	15	-
	4m	24～30	10	-	5		-	30cm上	20	-	12	-	
・出荷材積 約1,500 m <sup>3</sup> 記号 △ 強気配 - 横ばい ▼ 弱気配													
(共販所より概況) スギ：22下は3m、22上は4m造材をお願いします。 ヒノキ：6m材は直材で力の強い(末口16cm～20cm、元口22cm)造材が有利です。 スギ・ヒノキともに直材中心の造材よいと思われまます。													

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製 材 (8月中旬)

樹 種	寸 法	等級	区分	安値～高値	備考
スギ	正角 3m 10.5cm 角	特等	G	30,000～35,000	注文挽き
		特等	K	50,000～55,000	
ヒノキ	正角 3m 12cm 角	特等	G	30,000～35,000	注文挽き
		特等	K	50,000～55,000	
マツ	正角 3m 10.5cm 角	特等	K	55,000～60,000	
	正角 3m 12cm 角	特等	K	55,000	
マツ	平角 4m 10.5～12cm×15～18cm	一 等	G	35,000～40,000	
			K	60,000～	
米マツ	正角 3m、4m 10.5cm 角	特等	G	43,000～48,000	
	平角 3m、4m 10.5×15～21cm	特等	G	45,000～50,000	
北洋アカマツ	タルキ 4m 3.8cm 角	特等	K	60,000～62,000	
ホワイトウッド	間柱 3m 2.7cm×10.5cm	特等	K	43,000～55,000	

注：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット <b>グリーンフォーム</b> 切土軟岩用	間伐材利用植生マット <b>森樹郎マット</b> 切土土砂用	間伐材利用生分解型植生マット <b>森樹郎マット21</b> 切土土砂用	間伐材利用生分解型植生シート <b>張りウッド</b> 盛土用	間伐材利用植生シート <b>ハリシバモック</b> 盛土用
------------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------

岡山県エコ製品 「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目  
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」

太陽と緑の国づくり  
**Nihon 日本植生株式会社**  
<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>  
 津山支店 /津山市高尾573-1 TEL (0868) 28-0256  
 岡山営業所/岡山市北区横井上1328-2 TEL (086) 294-1000

FOREST INSURANCE

# 森林 国営保険



加入できる森林は？ 人の手が加わった森林  
 加入期間は？ 1年単位で何年でも！  
 保険金ができるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

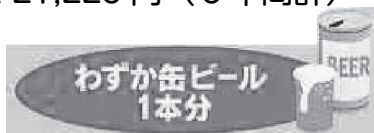
岡山県では過去5年間で10億円以上の保険金が支払われました。

## ご契約のモデルケース (1ha あたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年  
 保険期間…5年 保険金額…最大188万円  
 一括払いだと 21,225 円 (5年間計)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年  
 保険期間…5年 保険金額…最大299万円  
 一括払いだと 37,375 円 (5年間計)

1ヶ月あたり  
約 350 円



わずかにビール  
1本分

1ヶ月あたり  
約 620 円



わずかにラーメン  
1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○ご相談は、最寄りの森林組合、県民局(森林整備課)・地域事務所(地域森林課)の窓口へどうぞ。

**岡山県農林水産部治山課** 電話番号 086(226)7455 (直通)



## 緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助  
 治山・林道の調査、測量、設計、積算  
 森林整備の総合計画

(社)岡山県治山林道協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711

津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360



## 「緑の募金」 ご協力をお願いします

募金期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

緑の募金でふせごう地球温暖化

口座振込は  
こちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

(社) 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町 1-8 TEL・FAX (086) 221-9511



平成二十四年九月一日(第四二五号)  
(隔月一日発行)

編集  
発行  
〒700-8750 岡山県林政課内 岡山県林業改良普及協会  
岡山市北区内山下二一四一六



**CT-500B** GP-532 小型ハイパワープロセッサ

shindaiwa

高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う


**美津吉商事株式会社**

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255  
http://www.mitsuyoshi.com/

『特別共販日のご案内』 岡山県森林組合連合会 **JForest**

開催日	特別共販名 (開催共販所)
10月17日	真庭産優良材品評会特別市 (勝山)
19日	加茂地区木材組合記念市(津山)
23日	新見地区木材祭り(新見)
11月9日	第24回岡山県民有林優良材展示コンクール(津山)
22日	新見市優良丸太共進会(新見)

新見・勝山・津山 各共販所への出材をよろしくお願ひします。(毎月3回開催)



**スミヤケール 販売中!**

ドラム缶式炭化炉に比べ、はるかに簡単!  
手軽に炭が作れます。

(岡山県森林研究所 考案)



軽量  
工具不要

軽量コンパクト  
耐久性抜群  
(ステンレス)  
工具不要で簡単  
(組み立て3分)

煙突1ヶタイプ (サイズ2種)  
煙突2ヶタイプ (サイズ4種)


株式会社 ファインテクノ・タケダ

営業本部 真備工場  
岡山県倉敷市真備町有井 141-7  
TEL: 0866-98-5312(代表)  
FAX: 0866-98-5316

緑あふれる環境づくり

**株式会社 山都屋**

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号  
TEL(086)272-2161 FAX(086)272-2142  
http://www.yamatoya-net.com  
大阪営業所 津山営業所 水島営業所



木を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材  
防腐処理・ログハウス・デッキ

**さんもく工業株式会社**

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号  
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130



優良種菌で確かな収穫

**もりのたねごま**

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社  
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104  
TEL 岡山(086)805-7033(代)